
Kobe Digital Labo

データ活用実践講座
(PredictionOne活用)

2021.08.12

1. 講座内容

<講座目的>

「自社データの活用とその実践」を進めるための、データ分析ツール*1)の活用を体験的に学びます。自社データを使った実習にも対応します。

*1) Prediction One :Sony Network Communications (<https://predictionone.sony.biz/about/feature/>)

<受講形式>

オンライン講座（またはオフライン講座：受講企業様社屋内）

- ・ 講義 約160分：AI・DX概論、分析手法・予測解説、ツール操作手順
- ・ 実習 約120分：ツール操作および解釈、活用に向けた議論

2. 講座詳細

<全体スケジュール（目安）>

時間（分）	内容	実施者	詳細
50	講義	講師	DXで目指す業務効率
	講義	講師	AI概論
	講義	講師	PredictionOneとは
	質問他	全員	
60	講義	講師	分析手法説明 -1. 回帰
	講義	講師	分析手法説明 -2. 分類
	講義	講師	分析手法説明 -3. 時系列
60	休憩（昼）		
50	演習	講師	PredictionOne基本操作-1.回帰
	演習	講師	PredictionOne基本操作-2.分類
	演習	講師	PredictionOne基本操作-3.時系列
40	講義	講師	データ整理のポイント
	講義	講師	予測活用のポイント
90	実習	参加者	データ分析
	講義	講師	まとめ
	議論	参加者	業務への活用に向けて

3.受講条件

必要スキル

- 簡単なPC操作

推奨スキル

- 簡単なExcel操作

ご用意いただくもの

- パソコン（Windows推奨）
- インターネット環境
- Prediction Oneのライセンス（クラウド版）

1ライセンス（1人）217,800円/年（税込み）、30日間無償（2021/08/16現在）

ライセンス費：<https://predictionone.sony.biz/plan/>

4. 誰もがデータ分析

【PredictionOne(*1)を使おう！】

(*1) Sony Network Communications社が提供しているAIツール

- 特徴

データさえあれば、誰でも、何度でも簡単に予測を立てられる

→ **プログラミング不要**

→ データの準備と数クリックの動作で予測できる

→ ニューラルネットワークでモデルを作成するが、割と早い

→ デスクトップで動作する（PCの性能次第で所要時間が変わる）

→ **予測に使うのは、表形式（Excelで扱える）データ**

→ 予測するのは、数値（回帰）かラベル（分類）

5. 対応可能なデータ分析のケース

利用シーン	予測できること	効果
ダイレクトマーケティング・CRM	コンバージョン、退会などの顧客行動	予測に基づく顧客セグメントによりROIを改善
訪問営業	成約などの顧客行動	成約確率の高い顧客を優先的に訪問し効率向上
マッチング、推薦	購入などの顧客行動	購入確率の高い商品を顧客に提示し、売上増加
需要予測	需要の予測	予測を活用し、生産計画の精度向上
コールセンター入電予測	入電数予測	入電数予測に基づく、オペレータ配置の精度向上
テキスト分類	苦情・レポートなどの分類	分類の工数削減
人事	業績や退職の予測	従業員の業績改善、退職の防止
リスク推定・査定	デフォルト予測	査定の精度向上、自動化
故障予防	故障の予測	製造機器などの故障の未然防止
不正防止	不正の検知	未然に不正を予測し防止